平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月26日

上場会社名　株式会社　不二家　　上場取引所　東
コード番号　2211　URL　http://www.fujiya-peko.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 櫻井　康文
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事本部長　(氏名) 河村　宣行　TEL 03-5978-8100

四半期報告書提出予定日　平成24年5月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	23,334	5.8	584	193.7	676	174.0	550	―
23年12月期第1四半期	22,064	―	198	―	246	―	△41	―

(注)包括利益　24年12月期第1四半期　837百万円　(―%)　23年12月期第1四半期　△2百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	2.13	―
23年12月期第1四半期	△0.16	―

当社は、平成22年12月期より決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更をしております。これに伴い、平成23年12月期第1四半期(1月から3月まで)と、比較対象となる平成22年12月期第1四半期(4月から6月まで)の月度が異なるため、平成23年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	51,070	26,281	51.1
23年12月期	53,034	25,443	47.7

(参考) 自己資本　24年12月期第1四半期　26,085百万円　23年12月期　25,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―				
24年12月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	2.1	200	9.0	400	18.0	200	―	0.78
通期	90,500	3.3	1,800	72.7	2,500	37.7	2,000	267.1	7.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	257,846,590 株	23年12月期	257,846,590 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	80,349 株	23年12月期	80,349 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	257,766,241 株	23年12月期1Q	257,767,060 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年１月１日～３月31日）のわが国の経済は、米国はじめＥＵ、中国の景気の先行きに不安感がある中、東日本大震災からの復興需要や個人消費の持ち直しが内需を支え、さらに、円高の一服感による輸出の復調から、景気は緩やかに回復し始めました。しかしながら、原油価格の高騰や電力供給不足、電気料金値上げなどの懸念材料があり、日本経済は依然として不透明な状況であります。

当社グループが属する食品業界におきましては、長引くデフレによる低価格競争の激化や、原油高による原材料価格や物流費のコストアップが収益を圧迫するなど、経営環境はさらに厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、洋菓子事業におきましては、高品質でお買い求めになりやすい1,000円シリーズの商品を継続的に展開し、売上の拡大を図るとともに、新規出店を積極的に行った結果、店舗数が純増となり、売上は大幅に増加しました。

製菓事業におきましては、基幹ブランドの販売強化を行うとともに、バレンタインを中心とした催事にも積極的に取り組みました。また、「カントリーマアム（ネクターピーチ）」など自社ブランドを活用した商品や、コンビニエンスストア向け商品など業種、業態に対応した商品を拡販し、売上は順調に増加しました。

また、発売50周年を迎えた「ルック」ブランドの浸透を図るため、製菓部門のみならず、洋菓子部門や山崎製パン株式会社（以下「山崎製パン」といいます。）とも積極的にコラボレーションを行い、売上拡大を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は233億34百万円(前年同期比105.8%)となりました。

損益面では、全社一丸となり全事業の黒字化と安定した収益の確保を目指し、徹底したコスト削減と積極的な製品開発、営業活動を実行したことによる売上の増加が生産性を向上させ、おかげさまで収益は大きく増加しました。特に、洋菓子事業における単体及び連結子会社２社（株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャポン）の収益が改善し、その結果、営業利益は５億84百万円（前年同期比293.7%）、経常利益は６億76百万円（前年同期比274.0%）、四半期純利益は５億50百万円（前年同期に比べ５億91百万円の改善）となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第１四半期連結累計期間 平成24年１月 1日から 平成24年３月31日まで		前第１四半期連結累計期間 平成23年１月 1日から 平成23年３月31日まで		前年同期比	増減
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	5,594	24.0	5,099	23.1	109.7	494
	レストラン	1,694	7.3	1,523	6.9	111.2	170
	計	7,288	31.3	6,623	30.0	110.0	665
製菓事業	菓　子	14,499	62.1	13,989	63.4	103.6	509
	飲　料	1,198	5.1	1,186	5.4	101.0	12
	計	15,697	67.2	15,176	68.8	103.4	521
その他		348	1.5	264	1.2	131.8	83
合　　計		23,334	100.0	22,064	100.0	105.8	1,270

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

＜洋菓子事業＞

洋菓子チェーン店におきましては、デフレが続く中、消費者の低価格志向に対応すべく、「ミルキークリームロール」をはじめとした高品質でお買い求めになりやすい1,000円シリーズの商品や、「ペコちゃんのほっぺ」といった低価格商品を積極的に販売するとともに、「ミルキーバウムクーヘン」などギフト商品を充実させ、手土産需要の拡大を図りました。また、バレンタイン、ひなまつり、ホワイトデー、お彼岸などの催事に積極的に取り組み、おかげさまで、催事期間の売上は前年同期を上回ることができました。さらに、コンビニエンスストア向けに開発した「レーズンサブレ」の販売も好調に推移し、売上の増加に貢献しました。

店舗開発につきましては、ショッピングセンターなどへの出店を継続的に行うとともに、新たに山陰エリアへの開発を進めたことにより、３月には鳥取市に１号店を出店することができ、売上も好調に推移しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末店舗数は687店舗となり、洋菓子販売の売上は前年同期を上回ることができました。

高級洋菓子を取り扱うダロワイヨは、ひなまつり、ホワイトデーなどの催事における既存店の売上が好調に推移しました。また、「ケーキバイキング」の実施が売上拡大に寄与したことにより、来店客数は増加し、売上は前年同期を上回ることができました。

この結果、ケーキ等の洋菓子類の売上高は、55億94百万円（前年同期比109.7％）となりました。

レストランにおきましては、長引くデフレによる低価格競争の激化に対応すべく、美味しく、お得で満腹感を味わえる999円のスペシャルセットメニューの展開や、ご好評をいただいている「バースデーサービス」などに積極的に取り組みました。さらに、店内製造のフレッシュ感あふれるケーキを新たに加えた「ケーキバイキング」などの営業施策が効を奏したことから、来店客数も増加し、おかげさまでレストランの売上高は前年同期を上回ることができました。

この結果、レストランの売上高は、16億94百万円（前年同期比111.2％）となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は、72億88百万円（前年同期比110.0％）となりました。

＜製菓事業＞

菓子におきましては、引き続き、基幹ブランドの販売強化を図るとともに、「28粒アーモンドチョコレート」などの主力商品を積極的に販売したことや、「ハートチョコレート」を中心にバレンタインへの取り組みを強化した結果、売上は拡大しました。さらに、「ネクター」ブランドを活用した「白桃ミルキー袋」、コンビニエンスストア向けの「45ｇカントリーマアムプチ贅沢チョコ」、お土産商品の「16枚カントリーマアム（ずんだ）」などの新商品を開発したことが、売上拡大に貢献しました。

また、３月には「ルック」発売50周年のキャンペーンと連動して、洋菓子部門や山崎製パンとの強力なコラボレーションによる販売促進を小売店で実施し、高い評価を得た結果、「ルック」ブランド商品の売上は計画を上回ることができました。

在外子会社である不二家（杭州）食品有限公司につきましては、主力商品であるポップキャンディの売上が、引き続き好調に推移しました。

この結果、菓子の売上高は、144億99百万円（前年同期比103.6％）となり、前年同期を上回ることができました。

飲料におきましては、引き続き、基幹商品である「ネクターピーチ350g缶」の販売提携先拡大による売上増加に加え、「レモンスカッシュ350ml缶」の売上も好調に推移し、売上は前年同期を上回ることができました。

この結果、飲料売上高は、11億98百万円（前年同期比101.0%）となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は、156億97百万円（前年同期比103.4%）となりました。

＜その他＞

主に株式会社不二家システムセンターの事務受託業務の売上及び不動産事業のテナントからの賃貸収入で、売上高は３億48百万円（前年同期比131.8%）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりであります。

流動資産は234億37百万円で、主に売掛債権やたな卸資産の減により前連結会計年度末に比べ16億22百万円減少いたしました。固定資産は276億32百万円で、主に有形固定資産の減により、前連結会計年度末に比べ３億41百万円の減少となりました。

この結果、総資産は510億70百万円で前連結会計年度末に比べ19億63百万円減少いたしました。

また、流動負債は170億17百万円で、主に仕入債務や未払金の減により前連結会計年度末に比べ20億４百万円減少いたしました。固定負債は77億71百万円で、主に長期借入金や長期未払金の減により前連結会計年度末に比べ７億96百万円減少いたしました。

この結果、負債は合計247億89百万円で、前連結会計年度末に比べ28億１百万円減少いたしました。

純資産は262億81百万円で、主に四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ８億37百万円増加いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年２月９日に発表した予想の変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,331	9,670
受取手形及び売掛金	12,280	9,461
商品及び製品	3,068	2,299
仕掛品	291	296
原材料及び貯蔵品	1,797	1,426
繰延税金資産	31	43
その他	618	575
貸倒引当金	△359	△335
流動資産合計	25,060	23,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,595	6,502
機械装置及び運搬具（純額）	6,246	6,041
土地	2,847	2,847
リース資産（純額）	1,586	1,516
その他（純額）	637	726
有形固定資産合計	17,913	17,633
無形固定資産	320	308
投資その他の資産		
投資有価証券	6,031	6,078
繰延税金資産	48	47
敷金及び保証金	2,222	2,234
前払年金費用	1,117	1,005
その他	535	544
貸倒引当金	△213	△220
投資その他の資産合計	9,740	9,690
固定資産合計	27,974	27,632
資産合計	53,034	51,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,296	5,110
短期借入金	4,404	4,510
1年内償還予定の社債	354	354
リース債務	396	398
未払金	4,666	4,039
未払法人税等	286	114
賞与引当金	254	569
店舗閉鎖損失引当金	12	12
その他	2,349	1,907
流動負債合計	19,022	17,017
固定負債		
社債	1,333	1,261
長期借入金	2,277	2,020
リース債務	1,339	1,266
退職給付引当金	1,485	1,389
負ののれん	1	1
長期未払金	1,641	1,311
その他	489	521
固定負債合計	8,568	7,771
負債合計	27,590	24,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	5,070	4,065
利益剰余金	2,196	3,751
自己株式	△14	△14
株主資本合計	25,531	26,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△178	△24
繰延ヘッジ損益	△4	1
為替換算調整勘定	△34	26
その他の包括利益累計額合計	△217	3
少数株主持分	129	195
純資産合計	25,443	26,281
負債純資産合計	53,034	51,070

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）
売上高	22,064	23,334
売上原価	12,086	12,367
売上総利益	9,977	10,966
販売費及び一般管理費	9,778	10,382
営業利益	198	584
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	15	15
持分法による投資利益	19	57
その他	54	62
営業外収益合計	93	139
営業外費用		
支払利息	31	29
その他	14	17
営業外費用合計	45	46
経常利益	246	676
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8	－
特別利益合計	8	－
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産廃棄損	40	19
貸倒引当金繰入額	39	－
災害損失	138	－
その他	3	－
特別損失合計	222	19
税金等調整前四半期純利益	33	657
法人税、住民税及び事業税	72	76
法人税等調整額	△15	△10
法人税等合計	57	65
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△23	592
少数株主利益	17	41
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△41	550

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△23	592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	150
為替換算調整勘定	13	84
持分法適用会社に対する持分相当額	11	10
その他の包括利益合計	21	245
四半期包括利益	△2	837
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24	771
少数株主に係る四半期包括利益	21	65

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成23年１月１日 至 平成23年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,623	15,176	21,799	264	22,064	－	22,064
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	126	126	168	294	△294	－
計	6,623	15,303	21,926	432	22,358	△294	22,064
セグメント損益(△は損失)	△311	1,027	716	34	750	△551	198

(注) １ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

２ セグメント損益(△は損失)の調整額△551百万円には、固定資産減価償却費の調整額４百万円、その他の調整額６百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

３ セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,288	15,697	22,986	348	23,334	―	23,334
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	151	151	160	312	△312	－
計	7,288	15,849	23,138	508	23,646	△312	23,334
セグメント損益(△は損失)	112	1,003	1,115	24	1,140	△556	584

(注) １ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

２ セグメント損益(△は損失)の調整額△556百万円には、固定資産減価償却費の調整額５百万円、その他の調整額１百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

３ セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。